

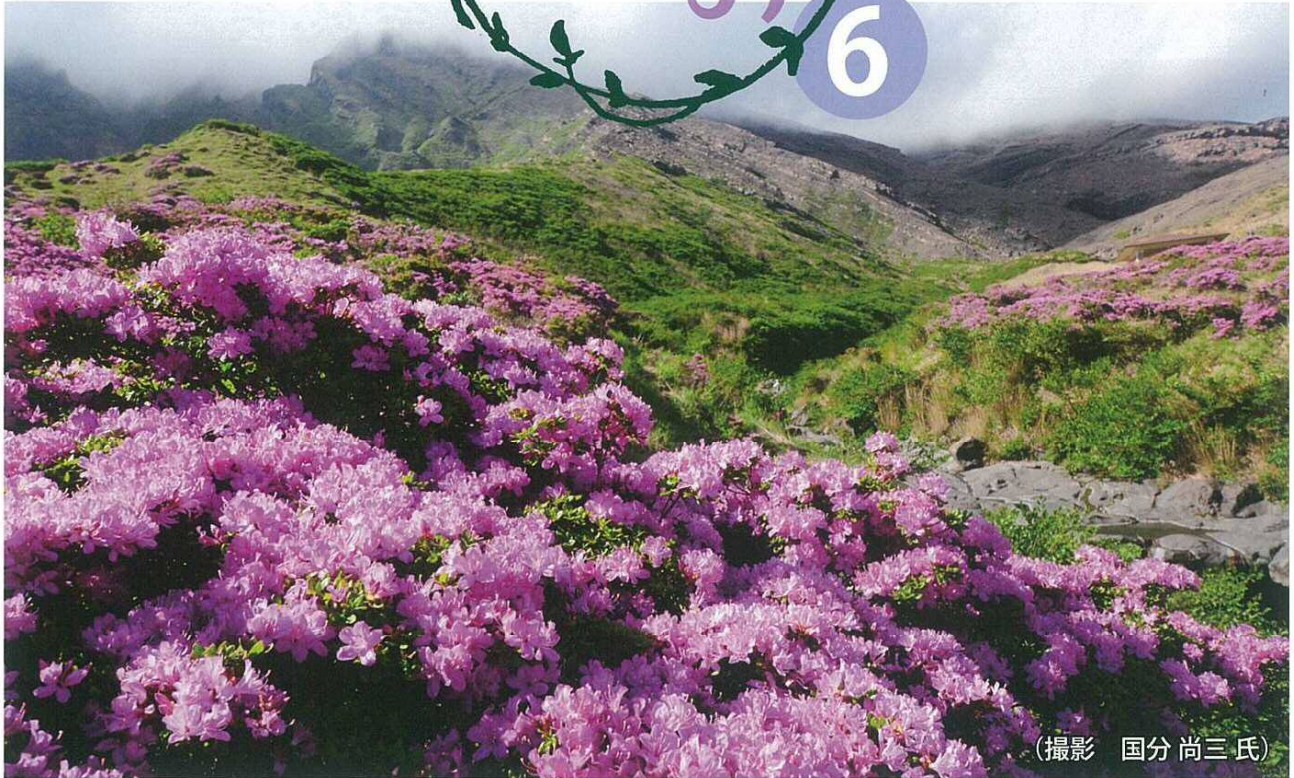
南無阿弥陀仏は  
私のいのち



平成 27 年  
6 月号

NO.  
449

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>  
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(撮影 国分尚三氏)

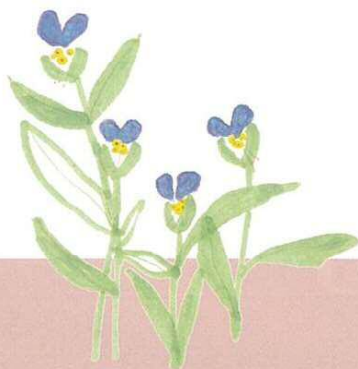
## 予 測 不 可 能

六月に入り雨の多い季節となってきた。毎年この時期になると梅雨入りが何時になるのか気に掛かる。テレビや新聞では、「今年の梅雨入りは例年通り」、「何日遅れ」というように、驚くほど具体的な情報が得られる。現在では気象予報以外にも、私達の生活に関わる様々な予報や予測がなされ、少しでも快適な暮らしが出来るように多くの情報が提供されている。

このように多くの情報を求めるのは、私達の抱える「不安」という事が背景にあると感じる。予測出来ない事や初めて体験する事には常に不安が付きまとい、不安を少しでも解消したいが為様々な情報を求めていると考えられる。

しかし、私達が頂くこの身この世というのは、「いつ・何処で・何が」起きるか分からない予測不可能な現実である。その事実気付かず迷う私達を、流転し続ける衆生として見出してきたのが仏の光である。そして、この身を明らかにして下さる光に出遇わせるのが、実は予測不可能な現実そのものといえるだろう。思い通りにいかない現実を通して、初めて自己に出遇える転機が与えられていたのである。これこそ予測不可能な事である。

(大橋 伊知郎 記)



## 平成27年度 婦人会総会

去る4月15日、西徳寺本堂に於いて、平成27年度婦人会総会が会員36名の出席をいただき開催されました。

始めに岸本住職から、「ナンマンダブツの信心は何処までも賜るものであり、それは支えられている自分に気付く生活です。それが信心を慶ぶ人であり、会員一人ひとりがその慶ぶ人になってほしい」とのご挨拶を頂きました。太田愛子会長からは、会員皆様へのご協力に対する感謝と、御礼の言葉がありました。また今年度は役員改選の年に当たりますが、三役・理事共に続投が提案され、皆様からご賛同を頂きました。

議事は小池理事が議長のもと、事業報告・会計報告・監査報告・事業計画案・予算案が審議されいずれも可決承認されました。

次に岸本芳枝坊守からは、平素よりの会員皆様のご尽力に対して御礼が述べられ、西徳寺が地域と繋がるお寺として開かれていくことを祈念していますとのご挨拶を下さいました。最後に真宗々歌を斉唱し、隠岐弘子理事の閉会の辞にて総会を終了しました。

総会後の懇親会ではビンゴゲームなどを楽しみ、賑やかなひとときを過ごしお開きとなりました。

(山崎 哲 記)



## えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

町田市	浄徳寺 様
さいたま市	原島 柊一 様
浦安市	窪澤 仁 様
千葉県山武郡	近藤 和子 様
鎌倉市	小松 正男 様

# 親鸞さんのことば

「南無阿弥陀仏をとなうれば  
他化天の大魔王  
釈迦牟尼仏のみまえにて  
まもらんとこそちかいしか」

松井憲一

親鸞聖人が詠われた『現世利益和讃』は、主に『金光明最勝王経』よって作られています。真宗教団連合のカレンダー「現世利益や、もの忌みせまい、弥陀の光の、中じゃもの」を知っておられる人は、親鸞聖人が現世利益をと疑問視される人もありますよ。

一般にいわゆる現世利益は、祈願によって、商売繁盛・息災延命・家内円満など個人的な思いがかなうことです。しかし、祈願で思いがかなう場合は、祈願する時と思いがかなう時とは、同時ではありません。それは現世利益といっても、実際は未来利益です。「すぐに利益が現れな

いのは、祈願が浅いから、真剣でないから」といわれても、未来利益であることには変わりはありません。

親鸞聖人がいわれる現世利益は、和讃に「南無阿弥陀仏をとなうれば」とあるように、南無阿弥陀仏をとなえるところに、自分のすべてがそのまま「ありがたい」とこと、即座に受け取れるまことの利益のことで、自分の思いがかなう利益ではありません。

「他化天」とは、欲界六天の最高位にある天のことで、他のものが作った欲の境界を自由自在に受け取って楽しむことから、他化自在天ともいわれます。この天の宮殿で、大魔王は多くの眷属をひきいて、あらゆる欲望をほしのままにしています。ですから、道を求めない人には、自分の欲望をかりたてる理想の王様といえます。

しかし、お釈迦様の「小欲知足（『大無量寿経』）」の教えに遇った人は、欲望の充足を求めることが、ますます「多欲不足」となって、かえって自分を苦しめているのに気づきますから、大魔王を頼ろうとはしませんが、それで、大魔王は、自分の力を維持するために、仏道に励む人を妨げようとしています。他を妨げて自分を守

ろうとするのは、自分の立場の危うさと、力の弱さの暴露です。

しかし、大魔王は他化自在天の王であるが故に、いかに強がりをつけてみても欲望の満足は、むなしなものであることに気づきます。それで、あらゆる欲望を自在にできる大魔王が、仏の教えのままに南無阿弥陀仏をとなえる人を、「釈迦牟尼仏のみまえにて、まもらんとこそちかいしか」と、釈迦牟尼仏のおん前で、必ず護ると誓われるのです。

大魔王が南無阿弥陀仏をとなえる人を護るといふのは、南無阿弥陀仏をとなえる人に特別な能力があるからではありません。親鸞聖人は、天親菩薩の「仏の本願力を観ずるに、もうおうてむなくすぐるひとよしよくすみやかに功德の大宝海を満足せしむ（『一念多念文意』）」の文を解説して、「功德ともうすは、名号なり」といわれるように、功德は南無阿弥陀仏にあるのです。それは、南無阿弥陀仏が、すべてを自分の思い通りにしたいという本末転倒の愚かな姿を教えて、阿弥陀仏の本願に遇うという本来の満足・自己実現を与えるからです。

阿弥陀仏の本願力に遇えば、どの

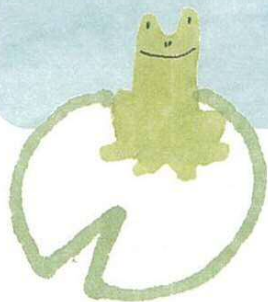
ような日暮らしをしても、むなくすぎない生活をたまわります。そして、その功德は、「よく信ずるひとのころのうちに、すみやかにとくみちたりぬ」というように、未来を待つ必要のない現世利益なのです。しかも、その現世利益は、「しらず、もどめざるに、功德の大宝、そのみにみちみつ」と、とりあえずの自己満足を越えて、南無阿弥陀仏と、いただいたいのちに出遇うところにきままるのです。それで、親鸞聖人は、大魔王が念仏者を守る誓いを、讃えられるのです。



# 山門の言葉

## 汝はこれ凡夫なり

『仏説観無量寿経』

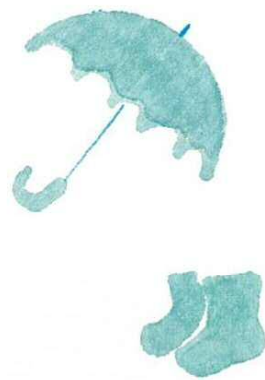


今月の山門の言葉は、西徳寺の同行会で学んでいる、『仏説観無量寿経』の言葉で、苦悩に満ちた世界から離れる術を教えてほしいと懇願した、インドのマガダ国王妃である韋提希に向かつて、釈尊がおっしゃった言葉である。

この言葉の後に、「心想羸劣にしていまだ天眼を得ず、遠く観ることあたわず」とある。つまり、あなたは煩惱の身に具えた凡夫である。道理に昏く、心も弱い。物事を正しく見通す力がないから、遠く離れた仏の世界を観ることができないといわれる。

善導大師は『観経』の注釈書である『観経疏』で、「経教はこれを喩うるに鏡のごとし」と教えられるように、この言葉は韋提希だけでなく、私たちに向けられている言葉である。

聞法会などで凡夫という言葉を聞くと、確かに自分のことが言い当てられていると感じる。しか



し、実際に凡夫として生きているかといえば、そうではない。何か悪いことがあると他人のせいにし、いいことがあると優越感に浸ったりする。つまり絶対に自分の意見が正しいと思つて生きているのである。

「あなたは凡夫です」と言われても、「はい、そうですよね」とならないのが私たちの相である。聞法していく中で、分かつたつもりになつていたが、実は自己が分かつていなかった。その自己こそが一番の問題であった。何度聞いても理解に止まり、外ばかり向いている私たちに、いつまでも自分を立ち帰らせていく道が勧められている。

(仲井 真裕 記)

### 日誌

4月16日	総代会	4月28日	仏教青年会総会
4月18日	定例聞法会	4月30日	東京教区研修会(西徳寺)
	混声合唱団「エコー」総会・練習	5月2日	混声合唱団「エコー」練習
4月25日	同行会「現代の聖典」に聞く 法話 仲井 真裕	5月7日・8日	中興忌
4月27日・28日	宗祖忌	5月9日	同行会「現代の聖典」に聞く 法話 岸本住職
		5月12日	東京教区声明講習会(西徳寺) 講師 木村 光見師

前略 御無沙汰申し上げております。

桜の開花も昨日からと報じられて、日増しに暖かくなり、まだ北国に雪の降る日があるのが信じられない当地です。

久しぶりにお伺い致したく存じておりましたが、午前中は比較的良いのですが、午後になると体調がいまいちになり、昨日出かける仕度はしていましたが、最近耳なりがひどく、いつもは左だけなのに、昨日は右もひどく、耳鼻科へ行きましたらメニエルではなく、脳の耳に通じる神経が痛んでいるそうで、年齢的にそれを治す薬も手術もないとの事で、具合が悪かったらおとなしくしてなさいと言われてしまいました。

昨年暮頃より突然体が震度3の地震の様なゆれがあり、かかりつけの先生に話したら、漢方薬を処方して下さいと毎日飲んでいる事を話したら、それならその薬を当分続けなさいと言われて、何かひどく気持ちが落ち込んでしまい、元気な時と体調がすぐれない時がかわりばんこにあって、お彼岸中にお伺いするつもりが出来なくなり申しわけございません。

おそくなりましたが、御布施を心ばかりでございますが同封させていただきます。宜しくお願い申し上げます。

3月24日

(平塚市 村越 和子 様)

拝読させて頂いています。皆様ご自愛の上、ご法務下さいますようお願い申し上げます。

合掌

追伸 「えこお」の表紙のお写真、たのしみにしています。撮影者と共に撮影場所も書いて頂くとありがたいです。お願い致します。

心ばかりです。お納め下さいませ。

(三重県・いなべ市 東光寺 様)

## 読者の声

前略 輪番様(大谷義博師)、お帰りなさい。何年前でしょうか、懐かしく思います。あの時は大変お世話様になりました。

私はこの8月で85才になり、あちらが近くなりました。1年に1度ぐらい東京に出かけますので、お逢い出来ればと願っております。

益々御発展と御健康をお祈り致します。

(鎌倉市 小松 正男 様)

境内だより  
3

5月号でお願いした国際通りの植え込みの植え換え作業には5人の方にきていただいて目標通り植え換えできました。文字どおり5月の薫風のもと一致団結した力で楽しく作業ができました。

「西徳寺前」信号の所では今年はお町内の交通安全のテントが立ち、役員さん方の見守りのような形での作業となりました。今年は菖蒲の鉢植えの植え替えをしてあったので折良く咲き、花をそえました。

参加いただいた方々は次のとおりです。

金子桂子様(中央)・長尾将男様(城東)・加藤晃司様ご夫妻(城北)・高寄勝子様(城北)  
お気持ち参加の方:鈴木弘子様(中央)・橘悦子様(城南)・竹内乾一郎様(城東)  
ありがとうございました。

お願い:お寺の境内の整備は“草引き”に象徴されますようにきれいにしたと思った後から次々と目につくものです。まるで“煩惱”のごとく絶えるものではないように思えます。

この後もえこおを通じ、または電話でお願いすることも多々あると存じます。是非皆様に参加していただきたくお願い申し上げます。そのときは汚れてもよいスタイルでご参加ください。

また、このことをとおしてお考えになられたこと、日頃考えていらっしゃる事など、お手紙でもお聞かせください。

合掌

(坊守 記)

平成27年5月

# 掲示板

平成27年6月

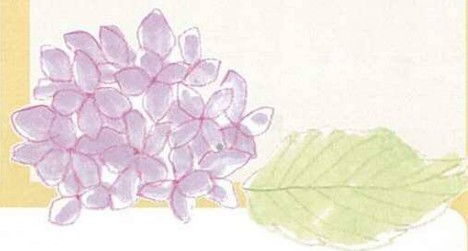
6日(土)・7日(日)		仏教青年会研修旅行 (山梨方面)
9日(火)	午後4時	総代会
13日(土)	午後3時半	混声合唱団「エコー」練習
	午後6時	同行会「現代の聖典」に聞く 法話 大橋 伊知郎
14日(日)	午後2時	城北ブロック会総会・間法会 (川口リリア)
17日(水)	午後1時	婦人会間法会
20日(土)	午後1時半	定例間法会
	午後3時半	混声合唱団「エコー」練習
21日(日)	午後3時	評議員会総会
23日(火)	午後1時半	『唯信鈔』に聞く(第14回) 講師 宗 正元師
27日(土)	午後6時	同行会「現代の聖典」に聞く 法話 木村主任
28日(日)	午後2時	城東ブロック会総会・間法会 (人形町 香港美食園)



## 青年会総会

4月28日に仏教青年会の総会が行われました。前年度の活動や会計について報告し、今年度の行事予定について話し合いました。

本年度も「<sup>たんにしょう</sup>歎異抄」の講義を宗<sup>そう</sup>正元先生よりいただく他に、バーベキュー大会やレクレーションを計画しています。詳細は本誌にて順次お知らせいたしますので、初めての方もぜひお越しください。



## 編集後記

紫陽花は梅雨時の季節を代表する花として古くから愛され続けています。多くの品種があり、様々な花色や花形、四季咲きのものもあるといわれています。

「移り気」という花言葉から贈り物には向かないとされていますが、梅雨のときに、雨粒を花びらに纏う姿はとても美しいものです。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：

 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。(メールでも結構です)

 [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)